

地震に備えて対策しておきましょう！

家具の転倒防止・配置の工夫

阪神・淡路大震災では、死亡原因の約8割が家屋や家具の転倒などによる窒息・圧死でした。新耐震基準を満たしている近年の建物であれば、倒壊する可能性は低いですが室内での被害を防ぎ、安全な避難経路を確保するためにも、家具の転倒防止や配置の工夫を行きましょう。

西宮市で想定される南海トラフ地震

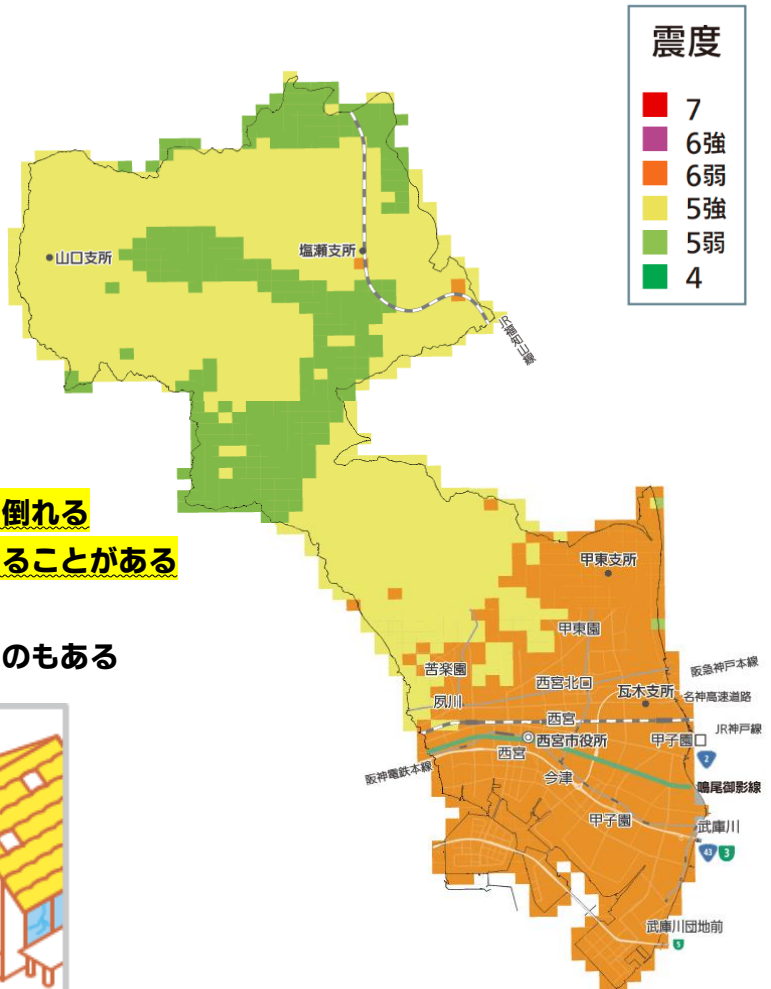
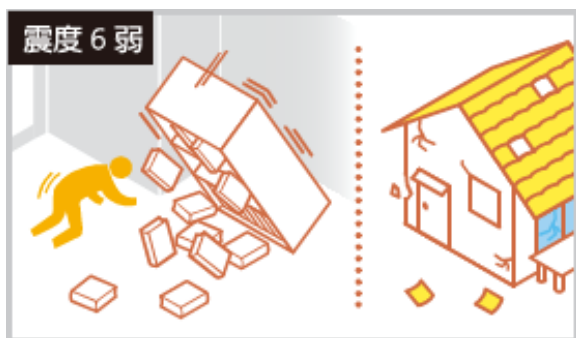
南海トラフ地震とは、日本列島の太平洋沖、「南海トラフ」沿いの広い震源域で発生する地震のことで、概ね100～150年ごとに発生しています。前回の地震から約70年が経過しており、今後30年以内にマグニチュード8以上の地震が発生する確率は70%～80%と予想されています。

西宮市内の揺れの強さ

- 最大震度6弱
- ゆったりとした揺れが1分以上
- ※ 阪神・淡路大震災の揺れは10秒程度

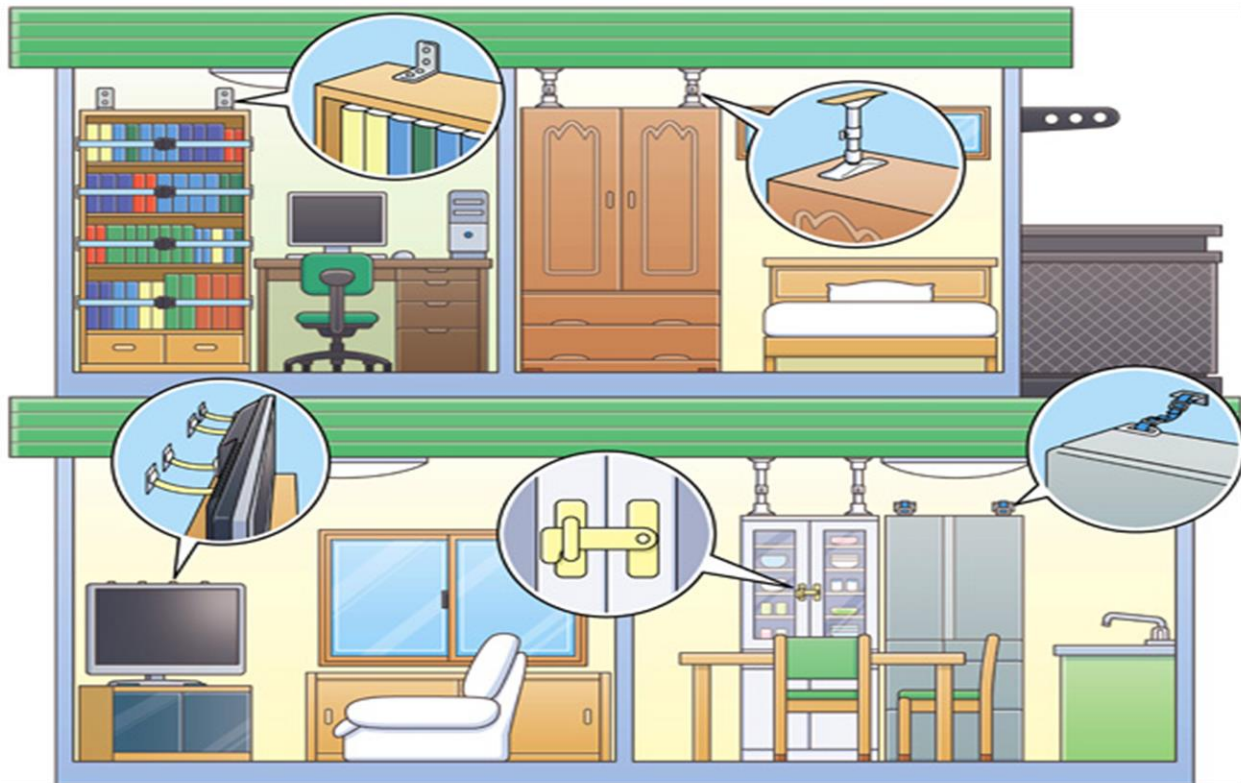
震度6弱の揺れとは？

- 立っていることが困難
- ドアが開かなくなることがある
- 固定していない家具の大半が移動又は倒れる
- 壁のタイルや窓ガラスが破損・落下することがある
- 耐震性の低い木造建物の場合には
瓦が落下 建物が傾いたり、倒れるものもある



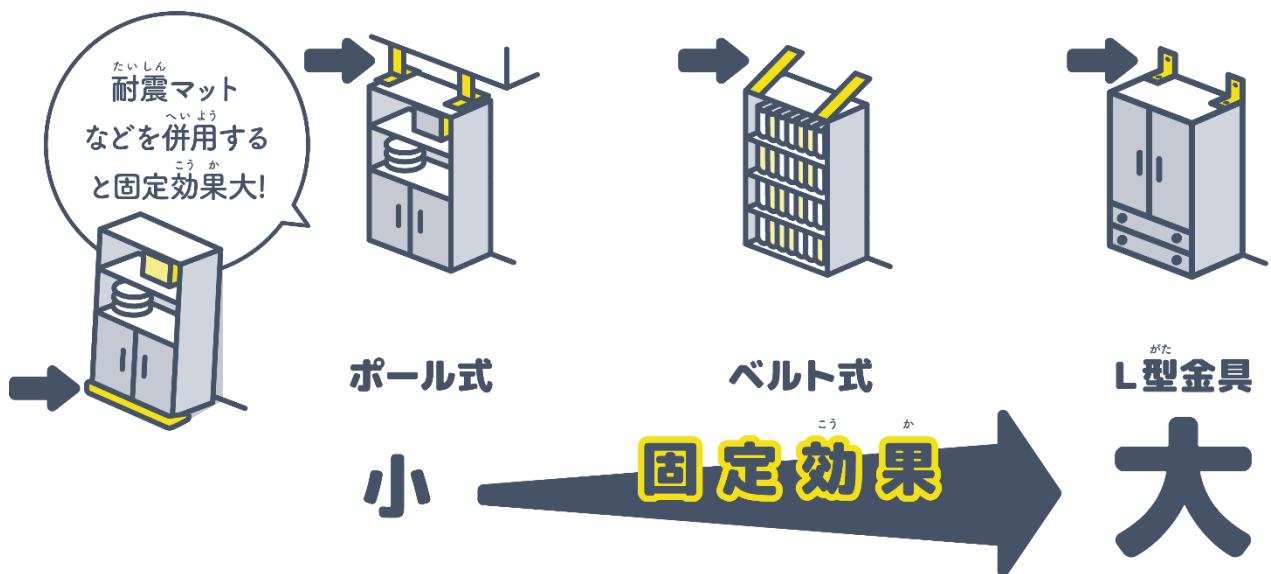
家具の転倒防止対策

家具の転倒防止には、器具を使用する方法があります。器具はホームセンター等で購入できます。



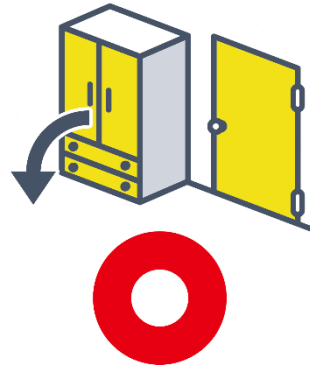
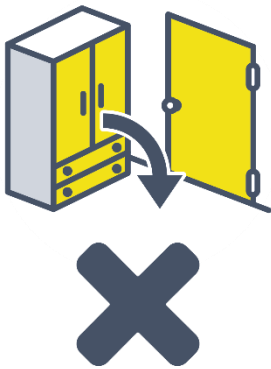
出典：政府広報オンライン 災害時に命を守る一人一人の防災対策

器具によって固定効果に差があります

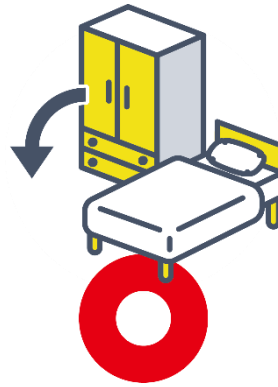
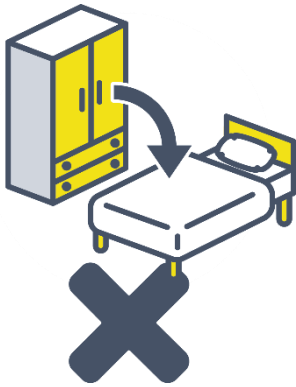


家具配置の工夫など

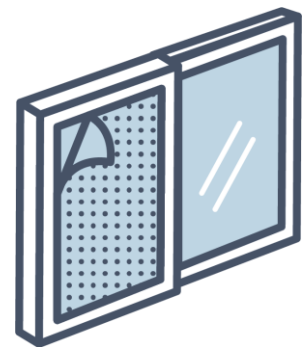
- 転倒しても出入口を塞がない位置に家具を配置する



- 転倒しても下敷きにならない位置に家具を配置する



- ガラスに飛散防止フィルムを貼る なければカーテンを開める



家具等の転倒防止対策を動画で見るところ



【消防庁動画チャンネル 今すぐできる！家庭防災—家具等の転倒防止対策】

他にも防災情報がたくさん！
「防災に役立つチラシ集」

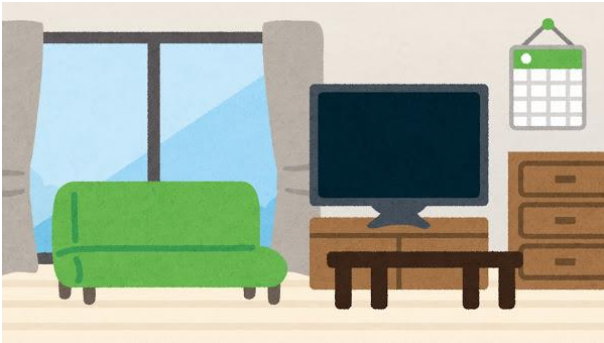


楽しく動画で防災を学ぼう！
「にしのみや防災チャンネル」



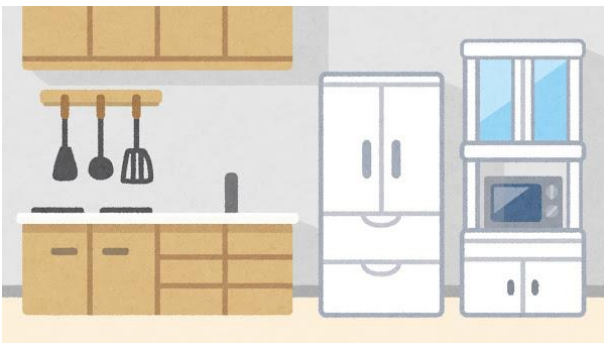
我が家の地震対策チェック

①リビング



- 大型の家具を固定
- テレビは低い位置に置いて固定
- ドアの近くに家具を置かない
- 重いものは棚の下の方に置く
- ガラスに飛散防止フィルムを貼る
-
-

②キッチン



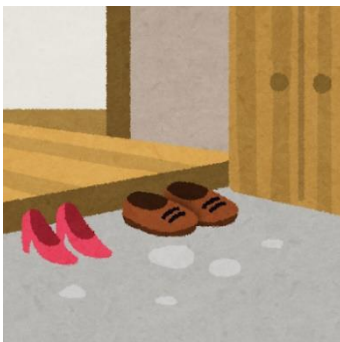
- 冷蔵庫や食器棚を固定
- 食器が飛び出さないように扉を固定
- ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 調理器具は出しっぱなしにしない
-
-

③寝室



- 大型の家具は置かないか、固定
- 布団に家具が倒れないように配置
- ドアの近くに家具を置かない
- ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 寝るときはカーテンを閉める
- 小物は割れない素材を選ぶ
-
-

④廊下・玄関



- 廊下には邪魔なものを置かない
- 棚などは固定
- 非常持出袋を取りやすい位置に用意
-
-

